



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月6日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東
コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門担当 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	48,157	△6.9	1,008	△26.7	1,072	△47.5	722	△46.3
2025年3月期第1四半期	51,741	△7.4	1,376	△50.0	2,042	△38.3	1,346	△40.1

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,481百万円(△24.4%) 2025年3月期第1四半期 1,959百万円(△48.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	31.51	—
2025年3月期第1四半期	56.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	159,335	94,940	59.6
2025年3月期	165,416	94,992	57.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 94,940百万円 2025年3月期 94,992百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	225,000	2.2	7,500	△8.8	8,000	△7.9	5,500	△21.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	25,025,242株	2025年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,198,983株	2025年3月期	2,048,062株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	22,924,485株	2025年3月期1Q	23,927,266株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しが見られ、景気は回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策による影響、中国市場の需要低迷並びに国際情勢緊迫化等の影響も懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社企業グループが関係する業界におきましては、市場における在庫調整の動きが長期化しており、その影響からF Aシステム事業と半導体デバイス事業が苦戦しました。

このような状況下にあつて、5カ年の中長期経営計画「NEW C.C.J2200」の最終年度となる当事業年度は、これまでに掲げてきた各事業の営業戦略と計画を高いレベルで実行できるよう鋭意取組んでまいります。また、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、お客様の現場の課題解決に向けた当社企業グループのソリューション提案事例を広くアピールすべく、当事業年度も世界最大級の食品製造総合展「FOOMA JAPAN 2025」や「関西物流展」に出展し、ビジネス機会の拡大に取り組んでおります。更に、D Xの推進、人財の確保など、中長期を見据えた必要投資についても、継続して積極的に実行してまいります。

以上の背景から、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高481億57百万円（前年同期比6.9%減）、営業利益10億8百万円（前年同期比26.7%減）、経常利益10億72百万円（前年同期比47.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億22百万円（前年同期比46.3%減）となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

〔F Aシステム事業〕

売上高：235億64百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益：7億92百万円（前年同期比1.6%減）

産業機械分野では、自動化設備が伸長しました。産業デバイスコンポーネント分野では、情報通信機器の販売が伸長するとともに、子会社においては、接続機器は堅調に推移しましたが、設備投資の低迷により制御機器が苦戦しました。また、前年同期が好調であった鉄鋼プラント向け大型設備は案件少なく、大幅に減少しました。

F A機器分野では、一部の顧客で在庫調整の影響が長期化する中で、主力機器製品が前年に大幅伸長したことによる反動から減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比8.8%減少いたしました。

〔半導体デバイス事業〕

売上高：189億72百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益：85百万円（前年同期比83.9%減）

半導体デバイス事業では、半導体分野でパワーモジュール、メモリなどが伸長しましたが、国内外ともに顧客の需要見極めを含む発注調整の影響を受け調整局面が継続しました。電子デバイス分野では、液晶並びにイメージセンサーは伸長しましたが、コネクタやS S D（Solid State Drive）は減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比7.0%減少いたしました。

〔施設事業〕

売上高：39億53百万円（前年同期比7.3%減）、営業利益：85百万円（前年同期比56.9%増）

施設事業では、酷暑の影響でルームエアコンが大きく伸長するとともに、L E D照明も好調に推移しました。また、データセンター向け特高受配電設備が売上に貢献しました。但し、ビル用マルチエアコンを始めとする空調機器と監視制御設備は当該期間に大きな案件が少なく減少しました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比7.3%減少いたしました。

〔その他〕

売上高：16億66百万円（前年同期比34.2%増）、営業利益：44百万円（前年同期は14百万円の損失）

M M S（金属加工製造受託）分野では、主力の立体駐車場向けの部材は堅調に推移しました。E M S（電子機器製造受託）分野では、電子部品の安定供給が可能となり、家電向け液晶基板ビジネスやプラットフォーム可動柵等、総じて好調に推移しました。

その結果、その他事業全体の売上高は、前年同期比34.2%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて60億80百万円減少の1,593億35百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少48億5百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて60億28百万円減少の643億95百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少46億32百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて52百万円減少の949億40百万円となりました。この主な要因は、為替換算調整勘定の減少5億73百万円、利益剰余金の減少4億26百万円、その他有価証券評価差額金の増加13億59百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました業績予想を据え置いております。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,069	20,129
受取手形、売掛金及び契約資産	67,018	62,212
有価証券	200	198
棚卸資産	34,867	35,418
その他	4,145	3,782
貸倒引当金	△60	△56
流動資産合計	130,240	121,685
固定資産		
有形固定資産	5,164	5,406
無形固定資産	1,262	1,495
投資その他の資産		
投資有価証券	25,794	27,795
退職給付に係る資産	1,704	1,702
その他	1,326	1,327
貸倒引当金	△76	△76
投資その他の資産合計	28,748	30,748
固定資産合計	35,175	37,650
資産合計	165,416	159,335
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,563	39,930
短期借入金	3,267	3,458
未払法人税等	1,473	545
賞与引当金	1,289	523
その他	7,139	6,727
流動負債合計	57,733	51,185
固定負債		
長期借入金	7,250	7,250
長期末払法人税等	6	6
退職給付に係る負債	669	676
その他	4,764	5,277
固定負債合計	12,690	13,210
負債合計	70,423	64,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	75,741	75,314
自己株式	△5,746	△6,131
株主資本合計	82,016	81,204
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,405	10,764
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	3,026	2,452
退職給付に係る調整累計額	545	518
その他の包括利益累計額合計	12,976	13,735
純資産合計	94,992	94,940
負債純資産合計	165,416	159,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	51,741	48,157
売上原価	45,260	42,093
売上総利益	6,481	6,064
販売費及び一般管理費	5,104	5,055
営業利益	1,376	1,008
営業外収益		
受取利息	26	58
受取配当金	228	256
為替差益	408	—
その他	40	42
営業外収益合計	704	357
営業外費用		
支払利息	28	27
為替差損	—	247
その他	10	18
営業外費用合計	38	294
経常利益	2,042	1,072
特別損失		
投資有価証券評価損	37	—
特別損失合計	37	—
税金等調整前四半期純利益	2,004	1,072
法人税等	658	349
四半期純利益	1,346	722
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,346	722

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,346	722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	140	1,359
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	499	△573
退職給付に係る調整額	△27	△26
その他の包括利益合計	612	759
四半期包括利益	1,959	1,481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,959	1,481
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	131百万円	135百万円

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	25,225	11,921	4,267	41,414	1,207	42,621	—	42,621
アジア他	614	8,471	—	9,085	34	9,120	—	9,120
顧客との契約から 生じる収益	25,840	20,392	4,267	50,499	1,242	51,741	—	51,741
外部顧客への売上高	25,840	20,392	4,267	50,499	1,242	51,741	—	51,741
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	25,840	20,392	4,267	50,499	1,242	51,741	—	51,741
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	805	530	54	1,390	△14	1,376	—	1,376

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	22,826	11,277	3,953	38,057	1,466	39,524	—	39,524
アジア他	738	7,694	—	8,433	200	8,633	—	8,633
顧客との契約から 生じる収益	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
外部顧客への売上高	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	23,564	18,972	3,953	46,491	1,666	48,157	—	48,157
セグメント利益(営業利益)	792	85	85	964	44	1,008	—	1,008

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。